

令和2年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 謙早市社会福祉協議会

目 次

I	令和2年度事業報告 概要説明	4
II	実施事業	6
1.	法人の運営基盤強化	
1.	組織・事務局体制の充実	6
(1)	事務局体制	6
(2)	監査及び理事会・評議員会の開催	6
(3)	職員の自己研鑽及び研修会の実施	8
(4)	事務・事業執行体制効率化の推進	9
2.	自主財源確保の取り組み強化	10
	会費・寄付	10
3.	職員の講師派遣	10
4.	福祉系大学との連携 相談援助実習生受入事業の実施	11
5.	福祉意識啓発活動の充実	11
(1)	社協広報紙「かんしゃ」の発行	11
(2)	ホームページの充実	11
6.	日本赤十字社長崎県支部諫早市地区の事業	11
7.	長崎県共同募金会諫早市支会の事業	12
(1)	長崎県共同募金会諫早市支会運営委員会の開催	12
(2)	赤い羽根共同募金運動の実施	12
(3)	歳末たすけあい運動配分委員会の開催	12
(4)	歳末たすけあい運動の実施	12
8.	長崎県戦没者慰靈奉賛会諫早支部の事業	12
(1)	長崎県戦没者慰靈奉賛会諫早支部役員会の開催	12
(2)	令和2年度諫早市戦没者追悼式の開催	12
(3)	戦没者慰靈奉賛金勧募の実施	12
2.	地域福祉活動の推進	
1.	地域福祉推進のための基盤整備	13
	地区社協運営の支援及び助成	13
①	地区社協会長会会議の開催	13
②	地区社協運営支援	13
③	地区社協総会への出席	14
④	地区社協事業への出席	14
⑤	ふれあいいきいきサロン活動の支援	14
⑥	子育てサロン活動の推進	15
⑦	福祉協力員設置事業の推進	16
⑧	世代間交流事業の支援	17
⑨	高齢者等見守りネットワーク活動の推進	17
⑩	ふれあい食事サービス事業の支援	17
⑪	地区社協対象研修会の開催	18

⑫ 地区社協地域福祉活動計画策定の支援	18
2. 地域福祉強化のための施策	19
諫早市社会福祉協議会表彰	19
3. 生きがい学び事業の実施	19
(1) 上山荘生きがい学び講座の開催	19
(2) 上山荘活用講座の開催	19
4. 地域福祉団体及び関係機関・団体との連携及び会議出席	20
(1) 講早市民生委員児童委員協議会連合会の支援	20
(2) 定期総会及び各種団体開催行事への出席	20
(3) 介護予防と生活支援の語らん場への参加	21
3. ボランティア活動の推進	
1. ボランティアセンターの機能強化	22
(1) 講早市ボランティアセンター登録、助成支援及び相談実績	22
(2) ボランティア啓発活動	23
2. 福祉意識啓発	23
(1) 福祉教育の推進	23
(2) 福祉体験学習の支援	24
(3) 使用済み切手整理ボランティア活動の実施	24
3. ボランティア活動の支援	24
(1) 講早市ボランティア連絡協議会の活動支援	24
(2) 収集活動への協力（プルタブ及び使用済切手）	26
4. ボランティアの養成	26
(1) 「いきいき応援隊」活動実績	26
(2) 災害ボランティアセンター支援活動	27
4. 共同募金配分金事業の実施	
1. 共同募金事業の基盤強化	28
(1) 長崎県共同募金会諫早市支会運営委員会の開催	28
(2) 歳末たすけあい運動配分委員会の開催	28
2. 配分金事業の推進	28
(1) 赤い羽根共同募金配分金事業	28
(2) 歳末たすけあい募金配分金事業	30
5. 福祉総合相談支援事業の実施	
1. ふれあい福祉相談事業の実施	31
(1) ふれあい福祉相談センターの設置	31
(2) ふれあい電話相談	31
(3) 専門相談の実施	33
2. 福祉資金貸付事業の実施	33
(1) 生活福祉資金等貸付事業の受託運営	33
(2) 講早市社会福祉協議会福祉資金貸付事業の運営	33
3. 日常生活自立支援事業の受託運営	34
(1) 福祉サービス利用援助事業の実施	34
(2) 援助活動の実績	34

4. その他の相談事業	35
(1) 生活全般の相談	35
(2) 成年後見申立相談援助	35
6. 福祉教育推進事業の実施	
1. 生活援助事業の実施	36
車いす貸与事業の実施	36
2. シニア美術手工芸作品展の開催	36
3. 障害者美術手工芸作品展（心の花展）の開催	36
7. 施設管理経営（指定管理）の受託	
1. 諫早市社会福祉会館の管理・経営	36
2. 諫早市上山荘南館の管理・経営	37
3. 福祉施設巡回バスの運行	37
4. その他	38
8. 新型コロナウィルス感染症対策	
生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等特例貸付	38
9. その他の事業の実施	
1. 諫早市水難者慰靈祭の開催	39
2. 諫早市戦没者追悼式の開催	39
3. その他	39
各種委員の推薦	39

I 令和2年度事業報告 概要説明

少子高齢化の進展、家族形態の変容、雇用形態の変化、近隣関係の希薄化などを背景に、福祉に対するニーズは年々多様化し、複雑化しています。

令和2年6月改正社会福祉法が成立し、地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の整備が求められました。制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域活動団体、企業等の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が、世代や分野を超え、つながることが「地域共生社会」を実現するためには、欠かすことができません。

本会では社会情勢の変化を踏まえ、効率的で迅速な事業の執行、職員の専門性や連携強化を図りました。

また、新型コロナウィルス感染症の影響による休業や失業により、生活資金に困窮する方が急増したことを踏まえ、政府による生活福祉資金の特例貸付急増に対応するとともに、ひとり親家庭等に対しては、現物支給による支援も併せて実施しました。

【重点施策】

1. 法人の運営基盤強化 ······ P 6

理事会や評議員会や各委員会を適切に運営し、新たに社会福祉士を3名雇用し組織の充実を図りながら、役職員が一体となって経営組織の強化に取り組み、適正かつ効率的な組織運営に努めました。

また、市民のみなさんにわかりやすく親しみやすい広報誌の発行と併せ、フェイスブック等のSNSを活用した新鮮な情報を発信することにより、透明性の高い法人運営を図りました。

基金や積立金などの安定的な運用と補助金、委託料の確保に努めるとともに予算の適正かつ効果的な執行と経費節減等に取り組み、持続可能な財政運営を推進しました。

2. 地域福祉活動の推進 ······ P 13

市内全域に組織されている20の地区・校区社会福祉協議会では、住民同士が抱える困りごとや地域の特徴を話し合い、それぞれに特徴ある「地区社協地域福祉活動計画」の作成に取り組み、今年度は7か所の策定が進みました。

地域の生活課題に対して、住民同士で解決していくこうとする住民の支え合い活動に寄り添い、支援し、地域の福祉力向上を目指しました。

3. ボランティア活動の推進 ······ P 22

参加へのきっかけづくりや相談・支援、情報提供などを行い、ボランティア活動の推進とボランティアセンターの基盤強化に努めました。また、ボランティア連絡協議会においては、普及啓発活動に取り組み、新たなボランティアの人材発掘につなげました。

4. 共同募金配分金事業の実施 ······ P

市民の総参加で寄せられた共同募金の配分金を活用し、高齢者福祉活動、障害児者福祉活動、児童・青少年福祉活動、母子寡婦福祉活動の支援及び助成を行いました。

新型コロナウィルス感染拡大をうけて、一部事業の中止や規模縮小等、例年とは異なる活動形態も展開しました。

5. 福祉総合相談支援事業の実施 ······ P 3 1

市民のみなさんが気軽に利用できる相談窓口として、ふれあい福祉相談センターを開設し、法律相談については、弁護士による相談と司法書士による専門相談を実施し、相談者に対し適切な助言と援助を行いました。

認知症や知的障害、精神障害等で判断能力が十分でない方などが、地域において安心して生活が送れるように福祉サービス利用のための相談や支援を行い、また権利擁護を推進するために、地域の相談支援機関や各分野の専門機関と連携して支援に努めました。

6. 福祉教育推進事業の実施 ······ P 3 6

小・中学校及び高等学校、また、地域や事業所における福祉教育において、障害者や高齢者の疑似体験などを通じて、思いやりのある福祉の心の育成に努めました。児童及び生徒を通じて家庭及び地域社会で「ともに生きる」ということはどういうことか、「障害」とは何なのかについて考え、地域での人と人とのつながりを生活課題の解決につなげる機会づくりを学びました。

7. 施設管理経営（指定管理）の受託 ······ P 3 6

社会福祉会館と上山荘南館の指定管理施設の設置目的を十分踏まえ、誰もが気軽に利用できるよう、利用者の利便性の向上を図るとともに、両施設とも設備改修工事による施設改善対策を行い、安全性・快適性の向上に努めました。

また、高齢者向けの生きがい講座の開催を行いました。

8. 新型コロナウィルス感染症対策 ······ P 3 8

新型コロナウィルス感染症の影響による休業や失業により、生活資金に困窮する方が急増し、貸付申請者数は、現在も増加の一途をたどっております。窓口対応職員も6名に増員し、様々な生活相談に対して、市の生活困窮者自立相談支援員と連携を図りながら、引き続き丁寧な対応を心がけていきます。

II 実施事業

1 法人の運営基盤強化

1. 組織・事務局体制の充実

(1) 事務局体制

総務課、地域支援課、地域福祉センター上山荘（2課1施設）

【職員体制】

	一般	契約	臨時・ パート	市派遣	計
総務課	2	2	—	1	5
地域支援課	8	1	—	1	10
上山荘	—	1	2	—	3
計	10	4	2	2	18

(2) 監査及び理事会・評議員会の開催

理 事（12人）

監 事（ 2人）

評議員（19人）

【理事会の開催】

議 事	
第1回 令和2年 5月30日	議案第1号 令和元年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）の専決処分の承認について 議案第2号 令和元年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会事業報告の承認について 議案第3号 令和元年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支決算の承認について 議案第4号 定時評議員会の開催について 議案第5号 評議員候補者の推薦等について 報告第1号 社会福祉充実計画における社会福祉充実残額の算定について 報告第2号 会長・常務理事の職務執行状況報告について
第2回 令和3年 3月12日	議案第6号 令和2年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支補正予算（第1号）の専決処分の承認について 議案第7号 令和3年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会事業計画について

議　　事	
第3回 令和3年 3月12日	議案第 8号 令和3年社会福祉法人度諫早市社会福祉協議会資金収支予算について 議案第 9号 社会福祉法人諫早市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について 議案第10号 社会福祉法人諫早市社会福祉協議会パートタイム職員就業規則の一部改正について 議案第11号 社会福祉法人諫早市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について 議案第12号 評議員会の招集について 議案第13号 評議員候補者の推薦等について 議案第14号 役員等賠償責任保険契約について 報告第 3号 会長・常務理事の職務執行状況報告について 報告第 4号 専決処分の報告について 報告第 5号 令和2年度社会福祉法人指導監査結果報告及び改善処理状況について 報告第 6号 各種施行細則の改正について

【監査】

議　　事	
第1回 令和2年 5月15日	令和元年度事業及び会計監査

【評議員会の開催】

議　　事	
第1回 令和2年 6月19日	議案第1号 令和元年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）の専決処分の承認について 議案第2号 令和元度諫早市社会福祉協議会事業報告の承認について 議案第3号 令和元年度諫早市社会福祉協議会資金収支決算の承認について

		議事
第2回 令和3年 3月19日	議案第4号 議案第5号 議案第6号	令和2年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支補正予算（第1号）の専決処分の承認について 令和3年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会事業計画について 令和3年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支予算について

（3）職員の自己研鑽及び研修会の実施

職員の資質向上を図るため、基礎研修及び専門別研修への派遣と職員の自己研鑽のための研修会を実施しました。また、社会福祉主事資格取得のための通信教育課程を受講させました。

【外部主催研修会及び市社協職員研修】 (人)

月	日	研修名	開催地	人数
4	23	諫早市職員防災大学終了式入校式	諫早市	3
5	10	諫早市職員防災大学	諫早市	3
6	17	諫早市職員防災大学	諫早市	3
7	15	諫早市職員防災大学	諫早市	3
8	19	諫早市職員防災大学	諫早市	3
9	16	諫早市職員防災大学	諫早市	3
10	12	令和2年度成年後見制度利用推進連絡会議	長崎市	1
	16	令和2年度成年後見実務研修会		1
	21	令和2年度長崎県市町社会福祉協議会交流研修会(リモート) 諫早市職員防災大学	諫早市	3
	26～27	新規採用職員後期研修	諫早市	3
11	11	令和2年度甲種防火管理再講習会 地域における総合相談・生活支援オンライン研修(リモート)	諫早市	2
	18	諫早市職員防災大学	諫早市	1
	21～23	長崎県防災推進員(自主防災リーダー)養成講座	東彼杵町	3

月	日	研修名	開催地	人数
12	2	長崎県防災推進員(自主防災リーダー)養成講座(普通救命講習) 防災大学礼式訓練	佐世保市	1
	7	令和2年度社会福祉協議会活動全 国会議(ライブ形式)		1
	16	諫早市職員防災大学	諫早市	1
	22	令和2年度社会福祉協議会活動全 国会議(ライブ形式)		1
1	22	令和2年度「オンライン形式で学 ぶソーシャルワーク実践力強化研 修」(リモート)		1
	29	コミュニティにねざしたふくし人 材を養成する研修(Web形式)		1
2	15	令和2年度市町社会福祉協議会法 人後見支援研修会(リモート)		1
	18	「広がれボランティアの輪」連絡 会議(リモート)		1
	19	令和2年度市町社会福祉協議会法 人後見支援研修会(リモート)		1
	22	令和2年度日常生活自立支援事業 「専門員強化研修会Ⅱ」 (リモート)		1
	26	令和2年度社協支所長・管理職研 修(リモート)		1
3	2	令和2年度生活困窮者レスキュー 事業全体会議(オンライン会議)		1
	4	2020年度地域包括支援学科実 習研究協議会		1
	17	地域共生社会の実現に向けた自治 体等研修(Zoom)		1
	18	法改正に伴う実習指導に関する説 明会	諫早市	1
	30	令和2年度みんなが主役の元気な 地域づくりセミナー(Web形式)		1

(4) 事務・事業執行体制効率化の推進

諫早市との協定に基づき派遣職員2名を受け入れ、執行体制の強化を図りました。

2. 自主財源確保の取り組み強化

会費・寄付

自治会・町内会のご協力のもと社協会員の加入促進、寄付金の受け付け及び赤い羽根共同募金をはじめ各種募金の勧募の推進を図りました。

【会費】

	会員数(人)	会費額(円)
普通会費 (100円)	40,771	4,077,100
賛助会費 (1,000円)	98	482,000
特別会費 (5,000円)	166	1,001,000

【寄付金】

13件	484,480円
(内訳)	
篤志寄附	4件 116,000円
香典返し	8件 322,000円
プルタブ(換金)	46,480円

3. 職員の講師派遣

関係団体から講師等派遣依頼を受け、職員を派遣しました。

月	日	講義内容	主催
11	11	令和2年度要約筆記者養成講座 ◎社会福祉の基礎知識Ⅰ 「日本国憲法と基本的人権の尊重」	いさはや要約筆記会
11	18	令和2年度要約筆記者養成講座 ◎社会福祉の基礎知識Ⅰ 「社会福祉の歴史と理念」	いさはや要約筆記会
11	25	令和2年度要約筆記者養成講座 ◎対人援助Ⅰ 「中途失聴者・難聴者の臨床心理」 「カウンセリングの基礎理論」 「対人援助の基礎理論」、「観察技術」	いさはや要約筆記会

【地区社協関係】

月	日	講義内容	主催
6	12	ふれあいいきいきサロン代表者会議 「新型コロナウイルス感染予防の留意事項」	喜々津地区社協
10	29	福祉協力員研修会 「福祉協力員の活動について」	多良見東地区社協

月	日	講義内容	主催
11	10	福祉協力員研修会 「福祉協力員の活動について」	御館山校区社協
12	2	ふれあいきいきサロン代表者会議 「諫早市のふれあいきいきサロンの活動状況について」	森山地区社協
2	26	福祉協力員及びサロン代表者研修会 ①サロン事業報告及び申請書類について ②福祉協力員について	真津山小校区社協

4. 福祉系大学との連携

相談援助実習生受入事業の実施

社会福祉士養成校学生の現場実習

【対象】 3人

学校名	期日	時間	人数
長崎ウエスレヤン大学	8／17～9／19（21日）	169	1
〃（事前実習）	3／1～3／5（5日）	40	1
長崎純心大学	8／17～9／19（22日）	177	1
〃（事前実習）	3／1（1日）	8	2

5. 福祉意識啓発活動の充実

(1) 社協広報紙「かんしゃ」の発行

社協広報誌である「かんしゃ」を毎月発行し、地区社協の活動や特別会員を紹介するなど市民の方々にわかりやすく親しみのある紙面づくりに努めました。

発行部数 46,000部／月

(2) ホームページの充実

諫早市社協の事業活動や地域福祉に関する情報を市民の方々に適宜周知するため、見やすく親しみやすいホームページの更新に努めました。

また、フェイスブックやインスタグラム等のSNSを活用し、新鮮な情報発信も併せて行いました。

6. 日本赤十字社長崎県支部諫早市地区の事業

日本赤十字社長崎県支部諫早市地区の事務局として、赤十字事業（世界の平和と人類の福祉増進に貢献するという理念に基づき活動）を存続するために会員の増強を図り、継続して安定した資金の確保を行うことを目的に活動資金の募集を実施しました。

【日本赤十字活動資金及び各種募金実績】

区分	日赤会費	戦没者慰靈奉賛金	共同募金	
			赤い羽根募金	歳末たすけあい募金
勧募時期	5月	8月	10月～12月	12月
目標額（円）	17,015,000	2,533,320	19,778,000	2,847,000
実績額（円）	17,324,875	2,242,553	18,227,783	2,560,557
達成率（%）	101.8	88.5	92.2	89.9
一世帯当たり（円）	500	60	440	50

【災害見舞金配付状況】

災害見舞金 5世帯 (総額 50,000円)

7. 長崎県共同募金会諫早市支会の事業

諫早市社協は、長崎県共同募金会諫早市支会の事務局として、高齢者福祉、障害者（児）福祉、児童青少年福祉、地域福祉など、相互のたすけあいを必要とする福祉活動の費用に充てることを目的に募金活動を実施しました。

(1) 長崎県共同募金会諫早市支会運営委員会の開催 令和2年8月21日

(2) 赤い羽根共同募金運動の実施 令和2年10月1日～12月31日

(3) 歳末たすけあい運動配分委員会の開催 令和2年12月4日

(4) 歳末たすけあい運動の実施 令和2年12月1日～12月25日

8. 長崎県戦没者慰靈奉賛会諫早支部の事業

長崎県戦没者慰靈奉賛会諫早支部の事務局として、これまで大戦で亡くなられた戦没者を悼み、平和を祈念することを目的に勧募等を行いました。

(1) 長崎県戦没者慰靈奉賛会諫早支部役員会の開催 令和2年7月27日

(2) 令和2年度諫早市戦没者追悼式 令和2年10月7日

(3) 戦没者慰靈奉賛金勧募の実施 令和2年8月

2 地域福祉活動の推進

1. 地域福祉推進のための基盤整備

地区社協運営の支援及び助成

地区社協の活動が円滑に行われるよう、地区社協地域福祉活動計画の策定支援や各種事業の実施に係る助成及びサロンの運営や立ち上げ支援、事業の推進に関する助言や情報提供などを行いました。

①地区社協会長会議の開催

(人)

月 日	議 事	参 加 人 数
7月31日	令和2年度 第1回地区社協会長会議 ・新しい生活様式に対応した地区（校区）社協の事業の取り組みについて ・地区（校区）社会福祉協議会福祉活動計画について ・意見交換	32

②地区社協運営支援

新型コロナウイルス感染予防のため、地区社協の種事業（集い等）や研修会の出席は減少しましたが、5地区社協で地区社協地域福祉活動計画が策定されたのを受け、支援件数は増加しました。また、各地区社協毎の担当職員が、地区社協へのより細やかな個別支援に努めました。

【地区社協別支援実績】

(件)

No	地区社協名	支 援 件 数
1	諫小地区	6
2	上山地区	7
3	上諫早地区	18
4	北小校区	31
5	西諫早小学校区	20
6	西諫早地区	19
7	御館山校区	9
8	本野地区	18
9	長田地区	10
10	高来地区	2

No.	地区社協名	支 援 件 数
11	小長井地区	1
12	森山地区	19
13	小野地区	10
14	有喜地区	9
15	小栗地区	13
16	飯盛地区	4
17	真津山小校区	11
18	多良見東地区	13
19	喜々津地区	9
20	多良見西地区	4

合計 233件

【支援項目別実績内訳】

(件)

支援項目	件数
事業活動に関する支援	172
地区社協地域福祉活動計画策定支援	86
サロン立ち上げ・運営に関する支援	64
各種事業打ち合わせ及び会議出席・情報提供	4
地区社協関連事業（サロン以外）に関する相談	12
各種事業（集い等）への出席	6
人材育成・研修に関する支援	10
研修会開催時の調整・講師紹介	3
講師として出席	5
研修会等への出席	2
事務局運営に関する支援	24
総会役員会等への出席	3
補助金等の説明・資料作成	21
その他	27
個別支援・対応	27
合 計	233

③地区社協総会への出席

- ・真津山小校区社会福祉協議会総会（4月23日）
- ・諫小地区社会福祉協議会総会（6月24日）

④地区社協事業への出席

- ・真津山小校区社協「第47回おもしろ科学実験」（10月24日）
- ・本野地区社協「ふれあい食事サービス」（12月11日）
- ・森山地区社協「防減災まちあるきワークショップ」（11月22日）
- ・喜々津地区社協「ふれあい年賀状」（12月4日）
- ・諫小地区社協「レッツエンジョイ148」（12月6日）
- ・飯盛地区社協「ふれあい食事サービス」（3月4日）

⑤ふれあいいきいき活動の支援

ふれあいいきいきサロンは、全地区社協で実施され令和2年度は、155箇所のサロンが実施されています。高齢者が気軽に集い、地域との繋がりを作るいきがいづくりの場として認知され、昨年度に比べ4箇所増えました。

サロン事業実施にあたっては、留意事項を各地区社協に配付し、感染予防対策の情報提供に努めました。

【ふれあいきいきサロン活動実績】

No.	地区社協名	開設数 (箇所)	開催回数 (回)	利用者延べ 数 (人)	ボランティア 延べ数 (人)
1	諫小地区	2	2	1 6	6
2	上山地区	9	1 0 1	6 2 5	3 4 7
3	上諫早地区	4	5 0	5 1 4	1 4 9
4	北小校区	1	0	0	0
5	西諫早小学校区	8	9 6	8 6 7	5 9 8
6	西諫早地区	9	6 8	8 1 0	4 1 0
7	御館山校区	3	7 6	1, 1 9 0	2 8 0
8	本野地区	8	6 0	4 2 6	2 1 6
9	長田地区	5	0	0	0
10	高来地区	1 1	8 3	8 3 1	4 0 0
11	小長井地区	1 6	8 2	7 0 5	3 5 7
12	森山地区	1 4	1 5 3	1, 1 4 7	2 5 7
13	小野地区	5	4 5	4 4 1	1 8 5
14	有喜地区	7	5 2	5 5 7	1 4 3
15	小栗地区	1 1	2 2 8	1, 9 8 7	8 7 5
16	飯盛地区	1 8	2 0 5	1, 7 7 9	7 0 2
17	真津山小校区	5	3 0	1 8 5	4 1 7
18	多良見東地区	9	7 2	8 1 8	3 6 1
19	喜々津地区	8	6 0	5 8 3	3 2 9
20	多良見西地区	2	3 5	2 6 1	8 7
合 計		1 5 5	1, 4 9 8	1 3, 7 4 2	6, 1 1 9

⑥子育てサロン活動の推進

子育てサロンは、昨年に引き続き13地区社協で取り組まれ、19箇所のサロンが実施されました。子育てサロンが、未就学児の親子が集い、地域の人々とのふれあいなどを通じ、子育てに対する不安の解消や見守りを行う地域住民の集いの場所と認知され、地域に必要な活動となっています。

サロン事業実施にあたっては、留意事項を各地区社協に配付し、感染予防対策の情報提供に努めました。

【子育てサロン活動実績】

No	地区社協名	開設数 (箇所)	助成 回数 (回)	開催 回数 (回)	利用者 延べ数 (人)	ボランティア 延べ数 (人)
1	諫小地区	1	1	1	5	3
2	上山地区	1	7	8	41	39
3	北小校区	1	0	0	0	0
4	西諫早地区	2	2	8	148	64
5	御館山校区	1	3	7	106	42
6	長田地区	1	0	0	0	0
7	森山地区	1	7	7	61	24
8	有喜地区	1	6	6	91	31
9	飯盛地区	2	18	18	269	40
10	真津山小校区	4	14	14	178	79
11	多良見東地区	2	18	27	571	106
12	喜々津地区	1	8	8	69	50
13	多良見西地区	1	10	10	94	37
合 計		19	94	114	1,633	515

⑦福祉協力員設置事業の推進

福祉協力員とは、地校区社協会長の委嘱を受け、住民の困りごとに気づき、声かけ活動や見守り活動を行い、地校区社協の事業に積極的に取り組むなど、地域の福祉力を高めることを目的に活動しています。

今年度は、昨年に引き続き16地区社協に設置され、民生委員・児童委員等地区社協構成員と協力しながら活動が行われました。

【福祉協力員設置状況】 設置地区：16地区 福祉協力員数：177人

地区社協名	人数(人)	地区社協名	人数(人)
諫小地区	17	小長井地区	12
上山地区	10	森山地区	11
上諫早地区	6	小野地区	13
北小校区	5	有喜地区	9
西諫早小学校区	16	真津山小校区	13
西諫早地区	12	多良見東地区	10
御館山校区	15	喜々津地区	12
高来地区	6	多良見西地区	10

⑧世代間交流事業の支援 実施回数 15回

No.	地区社協名	実施回数	内 容
1	有喜地区	6	ボランティアスクール（敬老会の日メッセージ制作、清掃活動、年賀状交流）
2	真津山小校区	2	花だより事業、おもしろ科学実験
3	多良見東地区	4	ラジオ体操交流会、ハロウィン、ふれあい年賀状
4	喜々津地区	3	ふれあい年賀状、鬼火焚き

⑨高齢者等見守りネットワーク活動の推進

ひとり暮らし高齢者等の見守りを目的に、市と協働でネットワークの推進を行いました。

【見守りネットワーク構成状況】

要援護者登録数 2,922人

◎見守りネットワーク協力員がいる要援護者数 1,904人

◎見守りネットワーク協力員延べ数 3,109人

◎見守りネットワーク協力員活動保険加入者 911人

要援護者登録とは

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、重度の障害者など、日常生活に手助けが必要な人や、災害時の避難にあたって支援が必要となる人をあらかじめ把握し、普段から地域に住む人同士で支えあい、助け合う地域づくりを目指すものです。

⑩ふれあい食事サービス事業の支援

【ふれあい食事サービス事業実績】

No.	地区社協名	実 施 延べ数 (回)	対象者 延べ数 (人)	ボランティア 延べ 数 (人)
1	諫小地区	1	96	21
3	上諫早地区	1	23	4
4	北小校区	4	935	88
5	西諫早地区	3	493	51
6	御館山校区	1	17	16
7	本野地区	3	119	45
8	長田地区	1	92	16
9	高来地区	6	480	64
10	小野地区	2	189	56
11	有喜地区	2	264	55

No.	地区社協名	実施延べ数 (回)	対象者延べ数 (人)	ボランティア延べ数 (人)
12	飯盛地区	3	443	45
13	真津山小校区	2	178	40
14	多良見東地区	1	78	9
15	多良見西地区	1	175	10
合 計		31	3,582	520

⑪地区社協対象研修会の開催

諫早レクリエーション研究会が実施する新型コロナウイルス感染予防対策に留意した「新たな生活様式に対応したレクリエーション」の講師派遣（6月から9月実施）の紹介を各地区社協に行いました。

⑫地区社協地域福祉活動計画策定の支援

小地域での福祉活動計画は、地域住民が福祉のまちづくりについて考え、行動するための柱となるものです。住民自らが、自らの基本理念を実現するため、関係機関・団体と連携し協働しながら、中長期的にその取り組みを進める計画です。

本会は、地域における支え合いの仕組みを作るため、地区社協にその計画策定について働きかけ、今年度は7地区の社協で計画に取り組みました。（5地区社協で策定完了）

【地区社協地域福祉活動計画策定に取り組んだ地区】

策定地区	策定期間	策定までの協議回数	備考
上諫早地区	令和2年11月～令和3年2月	4回	策定済
北小地区	令和2年8月～令和3年2月	6回	策定済
西諫早小校区	令和2年8月～令和2年11月	4回	策定済
本野地区	令和2年11月～令和3年3月	5回	策定済
長田地区	令和2年8月～令和2年11月	4回	策定済
小野地区	令和2年12月～	3回	策定中
森山地区	令和2年6月～	1回	策定中

2. 地域福祉強化のための施策

社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染予防のため内容を変更し、令和2年度諫早市社会福祉協議会表彰式のみ実施しました。

【日 時】 令和3年3月2日（火）11：00～12：00

【会 場】 諫早市役所5階大会議室

【被 表 彰 者】 民生委員・児童委員（8年以上） 5人

社会福祉団体（施設）役員（10年以上） 6人

3. 生きがい学び事業の実施

（1）上山荘生きがい学び講座の開催

高齢者に対して、健康の増進、各種講座による教養の向上、レクリエーションなどを開催し、高齢者の社会参加に努めました。

【上山荘生きがい学び活動事業】 (人)

講座名	登録会員数	開催延べ数	延べ人数
社交ダンス	12	41	324
手芸	12	20	134
大正琴	13	35	258
囲碁	26	41	481
陶芸	20	43	549
詩吟	7	0	0
舞踊	6	18	103
フラダンス	4	0	0
実用書道	16	19	82
将棋	16	40	287
俳句	8	8	41
太極拳	34	35	596
合計	174	300	2,855

（2）上山荘活用講座の開催

①豆知識講座の開催

講 座 名	開催月日	参加者 (人)
在宅医療について	12月10日	14

②お楽しみ講座の開催

講 座 名	開催月日	参加者 (人)
ぬりえ (用紙を配布し在館時も しくは持ち帰り色塗り)	12月23日～3月31日 ぬりえ用紙917枚配付	展示希望者 9名22枚

4. 地域福祉団体及び関係機関・団体との連携及び会議出席

(1) 諫早市民生委員児童委員協議会連合会の会議出席

◎諫早市民生委員児童委員協議会連合会会长会及び正副会長会への出席

- ・諫早市民生委員児童委員協議会連合会会长会の出席（10回／年）
- ・諫早市民生委員児童委員協議会連合会正副会長会の出席（1回／年）

◎16地区民生委員児童委員協議会定例会への出席

(2) 定期総会及び各種団体開催行事への出席

- ・諫早コスマス音声訳の会総会（4月10日）
- ・諫早市身体障害者福祉協会総会（4月18日）
- ・諫早市シルバー人材センター総会（5月28日）
- ・一般社団法人長崎県ろうあ協会諫早支部「令和元年度手話奉仕員要請講座開講式（昼間の部・夜間の部）」（6月1日）
- ・いさはや要約筆記会「令和2年度 要約筆記者養成講座開講式」（7月8日）
- ・諫早市民生委員推薦会（7月20日）
- ・第63回諫早万灯川まつり（7月25日）
- ・諫早市地区社協会長会「令和2年度第1回地区社協会長会会議」（7月31日）
- ・諫早市要保護児童対策地域協議会代表者会議（8月4日）
- ・諫早市献血推進協議会総会（8月27日）
- ・令和2年度第1回県央東県央北運営推進会議（10月9日）
- ・令和2年度第1回諫早市健康福祉審議会（10月16日）
- ・令和2年度諫早市健康福祉審議会第2回高齢者部会（10月21日）
- ・令和2年度第1回諫早市中学校連合生徒会会議（10月28日）
- ・諫早市健康福祉審議会障害部会（10月30日）
- ・令和2年度諫早市健康福祉審議会第3回高齢者部会（11月16日）
- ・第43回長崎県更生保護女性連盟研修会（11月18日）
- ・令和2年度第2回諫早市介護予防・日常生活支援推進会議（11月18日）
- ・令和2年第2回「諫早市民生委員推薦会」（11月19日）
- ・諫早地区犯罪被害者支援ネットワーク会議（11月30日）
- ・いさはや要約筆記会「令和2年度要約筆記者養成講座」閉講式（12月16日）
- ・令和2年度諫早市健康福祉審議会第2回障害部会（12月16日）
- ・令和2年度諫早市健康福祉審議会第4回高齢者部会（12月23日）
- ・令和2年度第2回諫早市健康福祉審議会（1月15日）
- ・第1回諫早市老連「生きがい作品展」（1月15日）
- ・一般社団法人長崎県ろうあ協会諫早支部「令和元年度手話奉仕員養成講座閉講式」（2月8日）

(3) 介護予防と生活支援の語らん場への参加

地域の福祉ニーズの実態把握に努めるとともに、地域の実情に応じた福祉活動を開するために「介護予防と生活支援の語らん場」に参加しました。

No.	エリア	実施地区	参加回数
1	中央	諫小校区	1回 (12/18)
2	北部	本野地区	1回 (11/25)
3	東部	長田地区	1回 (3/10)
4		高来地区	1回 (2/19)
5		小長井地区	1回 (2/25)
6	南部	小野地区	2回 (11/26、3/19)
7		有喜地区	1回 (11/20)
8		小栗地区	1回 (10/29)
合 計		9回	

3 ボランティア活動の推進

1. ボランティアセンターの機能強化

ボランティアコーディネーターを配置し、「ボランティア活動を希望する人」と「ボランティアを必要としている人」をつなぎました。高校生をはじめとした若年層の活動希望が多く、長崎県社協主催の「ボランティアチャレンジ2020（ボランティア体験事業）」を活用し、24件のコーディネートをしました。

また、登録団体は、コロナ禍で活動が思うようにできない状況が続きますが、勉強会の実施や運営方法を見直す機会となるよう支援をしました。

(1) 諫早市ボランティアセンター登録、助成支援及び相談実績（活動斡旋等）

【ボランティアセンター登録数】

団体数：90団体 個人：67人

【ボランティア団体助成支援】

助成実績：◎ボランティア活動費助成団体	37団体
◎ボランティア活動保険助成団体	35団体
◎ボランティア活動保険助成地区社協	13地区

【ボランティア保険加入状況】

安心してボランティア活動ができるよう、ボランティア活動中の様々な事故による傷害や賠償責任などについて補償する保険として、「ボランティア活動保険」の受付及び加入促進をしています。

◎ボランティア活動保険 116件	団体 85団体 (2,318人)
	個人 31件 (54人)
◎ボランティア行事用保険 21件	6団体 (1,273人)
◎送迎サービス補償 2件	2団体 (述べ利用者数2,572人)
◎福祉サービス総合補償 1件	1団体 (17人)

【ボランティア仲介】

◎ボランティア仲介数 10件

【ボランティア相談】

◎ボランティア相談実績 39件

○ボランティア相談実績内訳

相談内容	件数
活動要請依頼	3
活動希望	15
活動保険	2
団体運営	8
活動先の紹介	3
情報提供	3
講師派遣依頼	0
その他	4
合 計	38

(2) ボランティア啓発活動

【ボランティア情報の提供】

諫早市社会福祉協議会広報紙「かんしや」への掲載

主な掲載内容 ◎集物整理ボランティア活動

◎ボランティアの活動紹介

◎ボランティア活動保険の案内

2. 福祉意識啓発

(1) 福祉教育の推進

多様な人がいる社会で共に支えあい、安心して生活できる社会をつくるために、子どもから高齢者まですべての人とのふれあいを通して他者の立場、心情を理解し、互いに支えあう心や態度を養うことを目的に事業を推進しました。

福祉協力校の中には、新型コロナウイルス感染予防のため、「高齢者の方とビデオレター交流」「福祉施設の方とりモート交流」人と人との接触を減らす活動する等の工夫も見られました。

【福祉教育推進事業協力校の指定】

児童・生徒及び学生が社会福祉への理解と関心を深め、公共に奉仕する心情、相互扶助の精神の育成を図ることを目的に指定し助成を行いました。

【福祉協力校指定数】

小学校 28 校、中学校 12 校、高校 3 校、大学 1 校 合計 44 校

【福祉教育推進事業協力校の活動】

活動分野	主な活動内容
広報・啓発活動	① 社会福祉についての理解を深めるための学習会、講演会、映写会など ② ボランティア等の活動を学校新聞や PTA 新聞を通して、家庭及び地域に伝える
調査・研究活動	福祉マップ作り、自然環境調査など
多種多様な分野との交流を目的とした実践活動	① 地域の高齢者、心身障害児者の訪問など ② 地域の高齢者、心身障害児者の文化祭、体育祭等学校行事への招待など ③ 地域住民との協働活動など (例：農業体験を通して地域の方と交流) ④ 社会福祉施設の訪問、見学、ボランティア活動など
地域社会づくりのための活動	清掃、美化活動、文化財の保護等地域での活動など (例：高齢者施設、駅の美化活動、学校周辺の清掃活動)
社会福祉関係行事への参加	老人福祉週間、児童福祉週間、身体障害者福祉強調月間、共同募金、歳末たすけあい運動などの社会福祉関係行事への参加協力など (例：募金活動、プルタブ、エコキャップ、ベルマーク回収活動)

(2) 福祉体験学習の支援

福祉体験学習支援について、要請のあった小学校及び中学校や職場に職員及び福祉体験サポーターを派遣しました。

【福祉教育のための講師派遣】

〈職員派遣数〉 延べ33人

〈福祉体験学習サポーター派遣数〉 延べ40人

※福祉体験学習サポーター登録者 27人

〈福祉体験学習 講師派遣（出前講座）〉 小学校 12校、中学校 3校

〈主な体験内容〉 ・高齢者疑似体験 ・視覚障害者疑似体験 ・車いす体験

(3) 使用済み切手整理ボランティア活動の実施

ボランティア人材の育成を図ることを目的に、市内の小・中・高・大学・専門学校等52校に呼びかけて、使用済み切手整理のボランティア活動を実施し、ボランティア活動への理解と関心を深めました。

【期間】令和2年7月15日から令和3年3月31日まで

【参加者数】349人

【場所】各家庭

3. ボランティア活動の支援

(1) 諫早市ボランティア連絡協議会の活動支援

ボランティア連絡協議会は諫早市におけるボランティア活動をより円滑に推進するため、会員同士の連携・交流を図り、住民のボランティア精神の高揚と参加促進を図っています。ボランティアセンターに集う団体が、他団体との連携によって新たな活動の展開ができるよう支援を進めています。

例年の視察研修を加盟団体によるトークセッションに変更し、連携して活動をすすめていくことの大切さを再確認しました。また、ボランティアフェスティバルをパネル展方式で実施し、団体の周知をする機会となり、新たな活動者が増えました。

【ボランティア連絡協議会加入団体数】 49団体

【諫早市ボランティア連絡協議会の主な活動】

期日	会議名	事 業 概 要	参加者数 (人)
4月13日	第1回理事会	新型コロナウイルス感染防止対策 (総会の開催)、総会議事について	6
4月20日	会計監査	令和元年度会計監査	3
4月27日	第2回理事会	総会議事(事業報告・決算、事業計画・予算)について	5

期日	会議名	事 業 概 要	参加者数 (人)
5月23日	総会 ※書面表決	令和2年度 諫早市ボランティア連絡協議会 総会	42団体
6月15日	第3回理事会	総会書面表決の結果、令和2年度年間計画、理事の役割分担について	6
7月20日	第4回理事会	ボランティアフェスティバル、第1回代表者会議(研修の開催)について	6
8月17日	第5回理事会	第1回代表者会議議事(ボランティアフェスティバル、研修)について	6
9月 9日	会員研修	ボラ連加盟団体によるトークセッション～私たち団体の秘密をお話します!!・・・「つながりを絶やさないために今できること」～	33団体
9月 9日	第1回代表者会議	ボランティアフェスティバル(実施方法、メインテーマ、広報・周知)について	37団体
10月15日	第6回理事会	第1回代表者会議の反省、ボランティアフェスティバル、視察研修、会員の加入促進、ボラ連だよりについて	6
11月16日	第7回理事会	ボランティアフェスティバル、第2回代表者会議議事、役員研修、ボランティアガイドについて	4
12月14日	第2回代表者会議	ボランティアフェスティバル(チラシ、受付当番等)について	36団体
12月19日	役員研修会 ※オンライン	第32回近畿地域福祉学会 奈良大会「Withコロナ時代に問われる地域福祉の真価と可能性」	3
1月18日	第8回理事会	ボランティアフェスティバル最終確認、収支状況について	6
12月10日	広報紙発行	広報紙第1号	
2月2日～ 2月 6日	ボランティアフェスティバル	令和2年度諫早市ボランティアフェスティバル(諫早図書館) 加入団体による活動紹介のパネル及び創成館高等学校による作品を展示	約120

期日	会議名	事 業 概 要	参加者数 (人)
2月15日	第9回理事会	ボランティアフェスティバルの反省、第3回代表者会議議事、ボランティアガイド、役員の改選について	7
3月15日	第10回理事会	第3回代表者会議議事(ボランティアフェスティバルアンケート結果)、ボランティアガイド、ボラ連だより、令和2年度事業ふりかえり、令和3年度に向けて	5
3月22日	第3回代表者会議	ボランティアフェスティバルのふりかえり、役員改選について	34団体
3月31日	広報紙発行	広報紙第2号	

(2) 収集活動への協力（プルタブ及び使用済切手）

多くの団体、市民の方から協力していただきました。

【収集実績】

	個人	法人・団体	備 考
プルタブ	57件	112件	換金重量830kg
使用済み切手	43件	90件	—

※ 整理された切手について送付先である「日本キリスト教海外医療協力会」が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受付を休止しています。受付再開次第送付をしたいと思います。

4. ボランティアの養成

(1) 「いきいき応援隊」活動実績

「いきいきサロン」活動に「いきいき応援隊養成講座」登録者を派遣して、サロン活動が円滑に行われるよう支援しました。

【活動日及び活動場所】

※いきいき応援隊登録者 28人

No.	月 日	派 遣 先	派 遣 人 数
1	7月10日	ふれあいいきいきサロン小船越1区	1
2	7月28日	海津見サロン	1
3	10月 8日	いきいきサロン馬渡	1
4	10月20日	真崎町いきいきサロン	1
5	1月14日	いきいきサロン馬渡	1
6	2月12日	堂三いきいきサロン	1
	合 計		6

(2) 災害ボランティアセンター支援活動（大村市）

7月の豪雨災害により、大村市社協では、7月10日から26日まで災害ボランティアセンターが開設されました。

本会では、災害ボランティアセンターの開設に伴い、11人の職員を派遣し、被災地域の家屋の泥の除去や家具の移動などを行いました。

4 共同募金配分金事業の実施

1. 共同募金事業の基盤強化

長崎県共同募金会諫早市支会運営委員：10人 監事2人

(1) 長崎県共同募金会諫早市支会運営委員会の開催

【第1回長崎県共同募金会諫早市支会運営委員会の開催】

開催日：令和2年8月21日（金）

議 案：1. 令和元年度社会福祉法人長崎県共同募金会諫早市支会事業報告の承認について

2. 令和元年度社会福祉法人長崎県共同募金会諫早市支会事務費決算の承認について

3. 令和2年度社会福祉法人長崎県共同募金会諫早市支会事業計画について

4. 令和2年度社会福祉法人長崎県共同募金会諫早市支会事務費予算について

5. 社会福祉法人長崎県共同募金会諫早市支会歳末たすけあい運動配分委員の選任について

(2) 歳末たすけあい運動配分委員会の開催

歳末たすけあい運動配分委員会委員：9名

開催日：令和2年12月4日（金）

内 容：1. 令和2年度歳末たすけあい募金配分事業計画について

2. 歳末たすけあい見舞金配分審査について

3. 障害者成人祝金贈呈審査について

2. 配分金事業の推進

募金活動及び配分金を活用して、地域の福祉力を高めるための事業を実施しました。

(1) 赤い羽根共同募金配分金事業（事業実施月：4月から10月、3月）

事 業 名	事 業 概 要	数
広報紙の発行	〔再掲〕P11	46,000部
福祉体験学習の支援	〔再掲〕P24	15箇所
子育てサロン活動助成	〔再掲〕P16	94回
世代間交流事業の助成	〔再掲〕P17	15回
福祉団体活動助成事業	市内の福祉団体に対して、当該福祉団体の啓発事業費の一部を助成し、福祉団体の活動支援を実施する	
	①諫早市民生委員児童委員協議会連合会	5団体

事業名	事業概要	数
	②諫早市身体障害者福祉協会 ③諫早市手をつなぐ育成会 ④諫早市老人クラブ連合会 ⑤諫早市母子寡婦福祉会	
米寿記念写真贈呈事業	当該年9月1日現在満88歳を迎える高齢者で希望する者に「米寿記念写真」を撮影し、贈呈する	359人
ふれあい食事サービスの助成	[再掲] P17	3, 582人 (赤い羽根分) 2, 077人
高次脳機能障害者サロン「ひまわり」の実施	高次脳機能障害者とその家族に集いの場を提供し、当事者の社会参加と自立へ向けての支援を行うとともに、高次脳機能障害者について地域の理解を深めることを目的に実施 ○実施日時 毎週木曜日 14時～16時 ○場所 地域福祉センター	○登録者：9人 (当事者3人、 家族4人、 ボランティア2人) ○開催日：32日 ○参加者延べ数：160人
新入学児童交通安全帽子配付事業	小学校新入学児童へ交通事故防止を目的に黄色い帽子を贈呈する	1, 210人 (30校)

事業名	事業概要	数
小中学生修学旅行費一部助成事業	保護及び準要保護の世帯の小中学生の修学旅行費用の一部助成する。	小学校 27校 中学校 8校 300人 (小学生 203人) (中学生 97人)
福祉協力推進事業協力校の指定 (福祉教育の推進)	[再掲] P23	小学校 28校 中学校 12校 高校 3校 大学 1校

(2) 歳末たすけあい募金配分金事業（事業実施月：2月）

事業名	事業概要	数
在宅者への贈呈事業	市内に在住する低所得世帯に対して、年越しや新たな年を迎える時期に地域で安心して暮らすことが出来るよう見舞金を配付する。	87世帯 加算分 17人
障害者成人祝金贈呈事業	障害のある成人達成者に祝金を支給し、地域社会に踏み出す第一歩を祝福するとともに障害者の福祉の増進を図る	1人
ふれあい食事サービスの助成	[再掲] P17	3,582人 (歳末たすけあい分) 1,505人
広報紙の発行	[再掲] P11	46,000部
歳末たすけあい・ひとり親世帯緊急生活支援事業	高校生以下の子どもを養育し、かつ新型コロナウィルス感染症の影響により生計維持に支障をきたしているひとり親世帯等に支援物資を配付する。	79名

5 福祉総合相談支援事業の実施

1. ふれあい福祉相談事業の実施

(1) ふれあい福祉相談センターの設置

【相談事業の実施】

住民の日常生活の様々な相談に応じ、適切な助言と援助を行なうとともに関係機関との連携により、事態の深刻化を防ぎ、問題の解決に結びつくよう支援に努めました。

◎ふれあい福祉相談員 12人

【ふれあい福祉相談開催日数及び取扱件数】

開設日数	出席相談員延べ人数	取扱件数	取扱件数内訳
233日	233人	2,274件	来所・電話 7人・104件 ふれあい電話 2,163件

(2) ふれあい電話相談

ひとり暮らし高齢者への安否確認を目的とし、在宅高齢者の見守り活動の一環として実施しました。相談者の生活上の不安や悩みに寄り添うよう努めました。

◎ふれあい電話登録者数 111人

◎ふれあい電話発信件数 2,163件

◎新規利用者訪問調査の実施

調査対象：市内在住のひとり暮らしの高齢者で、見守り声かけの電話を希望する人（新規希望者）

調査期間：隨時

調査結果：ふれあい電話新規登録希望者 6人

【相談種別・相談件数（相談センター実績）】

(件)

区分		ふれあい福祉相談員対応					事務局対応 カルテ	
		相談件数	内訳			電話 ふれあい		
			解決	継続	他機関			
1	生計	2	0	2	0	—	47	
2	年金	0	0	0	0	—	11	
3	職業・生業	1	0	0	1	—	27	
4	住宅	70	0	70	0	—	12	
5	家族	1	0	1	0	—	20	
6	結婚	0	0	0	0	—	0	
7	離婚	0	0	0	0	—	0	
8	健康・衛生	0	0	0	0	—	2	
9	医療	0	0	0	0	—	6	
10	精神保健	7	0	7	0	—	6	
11	人権・法律	1	0	1	0	—	8	
12	財産	1	0	1	0	—	2	
13	事故	0	0	0	0	—	0	
14	児童福祉・母子保健	0	0	0	0	—	0	
15	教育・青少年	0	0	0	0	—	23	
16	心身障害者（児）福祉	0	0	0	0	—	1	
17	母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	—	2	
18	老人福祉	4	0	4	0	—	2	
19	苦情	10	0	10	0	—	0	
20	介護	4	1	2	1	—	4	
21	債務	0	0	0	0	—	14	
22	ボランティア	0	0	0	0	—	39	
23	その他	20	0	20	0	—	4	
取扱合計件数（件）		121	1	118	2	2,163	230	

【福祉カルテ】

職員が対応したすべての相談を記録したものが福祉カルテです。

令和2年度の相談件数は230件となっており、「生計」、「ボランティア」、「職業・生業」などの相談が多くありました。

(3) 専門相談の実施

【相談員】弁護士 年7回 司法書士 年2回

【相談件数】8件

2. 福祉資金貸付事業の実施

低所得世帯・高齢者世帯・障害者世帯の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした生活福祉資金等貸付事業を、長崎県社会福祉協議会の委託を受け実施しました。

(1) 生活福祉資金等貸付事業の受託運営

【相談件数、申請件数、決定件数、決定金額】(県社協受託事業)

資 金 種 類	相談(件)	申請(件)	決定(件)	決定金額(円)
生活福祉資金 (福祉費)	生業費	0	0	0
	技能習得費	9	1	593,000
	住宅整備費	0	0	0
	福祉用具購入費	0	0	0
	障害者自動車購入費	0	0	0
	療養費	3	0	0
	介護等費	1	0	0
	災害臨時費	0	0	0
	冠婚葬祭費	0	0	0
	住宅移転等費	10	2	578,000
教育支援資金	技能習得等支度費	1	0	0
	その他一時的な費用	0	0	0
総合支援資金	教育支援費	33	12	16,513,000
	就学支度費	24	12	5,880,000
	生活支援費	14	4	693,000
臨時特例つなぎ資金	住宅入居費	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0
不動産担保型生活資金	0	0	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1	1	0	0
合 計	106	32	31	24,257,000

(2) 諫早市社会福祉協議会福祉資金貸付事業の運営

市内に3月以上居住し、臨時の出費又は収入の欠如のため生活を維持することが困難で、応急的な資金を必要とし、必要な資金の融通を他から受けることが困難であると認められた世帯に対して貸付を実施しました。

【相談件数、申請件数、貸付件数、貸付金額】

資金種類	相談(件)	申請(件)	貸付(件)	貸付金額(円)
諫早市社会福祉協議会福祉資金	8	2	2	79,000

【償還指導訪問の実施】

◎諫早市社会福祉協議会福祉資金貸付償還指導件数（件）

訪問	電話	来所	文書	合計
2	0	0	0	2

3. 日常生活自立支援事業の受託運営

判断能力が不十分な方に対し、福祉サービスの利用手続きや金銭管理の支援を行い、利用者が安心して暮らせるよう支援するため、長崎県社会福祉協議会から委託を受け業務を実施しました。

【専門員及び生活支援員の設置と活動回数】

専門員 4人、生活支援員 7人

【活動回数】 (回)

認知症等の高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
0 (4)	177 (392)	137 (316)	44 (86)	360 (798)

※ () 内は専門員活動を含めた総活動回数

(1) 福祉サービス利用援助事業の実施

【令和2年度新規契約件数】 (件)

認知症等の高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
0	1	0	0	1

【令和2年度契約終了・解約件数】 (件)

認知症等の高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
1	1	1	0	3

【令和2年度実利用件数】 (件)

認知症等の高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
2	21	8	3	34

(2) 援助活動の実績

【相談・問い合わせ件数（現利用者も含む）】

本事業に対する相談・問い合わせについては、居宅介護支援事業所や病院のソーシャルワーカーなどからありました。また、新規の問い合わせについては、長期

間入院生活を送っていた知的障害者が退院するにあたり在宅生活の支援依頼や、家族に精神疾患がある認知症高齢者への支援などの相談があり、関係機関と連携を図ることを心がけながら支援に努めました。

＜日常生活自立支援事業に関する相談件数 932件＞

4. その他の相談事業

(1) 生活全般の相談

障害のある方の福祉サービスの利用や障害年金、自立支援医療費等の手続きなどの相談に対し、適切な関係機関の情報提供を行い、相談者の不安解消に努めました。

(2) 成年後見申立相談援助

【成年後見申立相談援助】 3件

成年後見申立相談援助に取り組み、制度紹介や成年後見申立手続支援など成年後見制度を円滑に利用できるよう支援に努めました。

6 福祉教育推進事業の実施

1. 生活援助事業の実施

車いす貸与事業の実施

在宅の寝たきりの方や、身体に障害のある方又は突発的な理由により一時的に必要になった方に、車いすの貸与を行い在宅生活の支援を行いました。

【実績】貸与件数：17件

2. シニア美術手工芸作品展の開催

場 所：地域福祉センター上山荘

作 品：135点

出展施設：20施設 1老人会 上山荘 3講座

3. 障害者美術手工芸作品展（心の花展）の開催

期 間：令和3年3月4日（木）～令和3年3月11日（木）

場 所：地域福祉センター上山荘

作 品：164点

出展施設：18施設

7 施設管理経営（指定管理者）の受託

1. 諫早市社会福祉会館の管理・経営

上山荘の維持・管理・講座等の開催

高齢者へふれあいや憩いの場を提供する施設として地域福祉センター上山荘と隣接する諫早市上山荘南館を一体的に管理し、より快適に利用していただくよう努めました。また、洋式トイレを洗浄便座に交換し、施設利用者の利便性の向上に努めました。

【諫早市社会福祉会館】

区 分	利用団体数（団体）	利用者数（人）
多目的ホール	172	4,250
第1会議室	247	2,430
第2会議室	356	2,366
小会議室	189	1,948
第1講座室	53	558
第2講座室	227	4,349
中会議室	217	3,023
録音室	106	960
合 計	1,567	19,884

2. 諫早市上山荘南館の管理・経営

【諫早市上山荘南館】

月	開館日数(日)	利用者数(人)	一日平均利用者数(人)
4	18	1, 049	58.3
5	18	1, 010	56.1
6	26	1, 668	64.2
7	25	1, 579	63.2
8	25	1, 516	60.6
9	23	1, 447	62.9
10	27	1, 389	51.4
11	23	1, 838	79.9
12	24	1, 877	78.2
1	23	1, 525	66.3
2	22	1, 653	75.1
3	26	2, 075	79.8
合計	280	18, 626	(1日平均) 66.5

3. 福祉施設巡回バスの運行

マイクロバスで福祉ゾーンの区間を巡回し、利用者の利便を図りました。

【市役所～上山荘～市社会福祉会館】

月	運行日数(日)	利用者数(人)	平均利用者数(人／日)
4	18	571	32
5	18	537	30
6	26	688	26
7	25	638	26
8	25	752	30
9	23	623	27
10	27	513	19
11	23	682	30
12	24	677	28
1	23	636	28
2	22	591	27
3	26	708	27
合計	280	7, 616	(1日平均) 27.2

4. その他

施設の指定管理者として契約業務を遵守しながら適正な経営管理に努め、各施設を快適にご利用いただくための改修を積極的に行いました。

【主な内容】

社会福祉社会館	
1階～3階	照明器具修繕
2階～3階	ブラインド修繕
3階講座室	タタミ表替
1階	正面出入口風除室内ドア修繕

上山荘南館	
機械室	給気ファン取替
風呂更衣室	換気装置排風機取替
風呂洗い場	シャワーホース・ヘッド取替・タイル補修
大広間・風呂	全コインロッカー鍵改修

8 新型コロナウィルス感染症対策

生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等特例貸付

新型コロナウィルス感染症の影響により、収入減少や失業をされた世帯に対し生活費等の必要な資金の貸付を行う緊急小口資金及び総合支援資金（生活支援費）の特例貸付が実施されました。

資 金 種 類		相談(件)	申請(件)	決定(件)	決定金額(円)
緊急小口資金		725	708	134,226,000	
総合支援資金	初回貸付	2918	539	429	231,350,000
	延長貸付		142	112	62,800,000
	再貸付		57	40	22,500,000

※貸付決定件数及び決定金額は令和3年4月末通知分によるもの

9 その他の事業の実施

1. 諫早市水難者慰靈祭の開催

日 時：令和2年7月25日（土）18：00～20：00
会 場：高城公園大悲観世音像前

2. 諫早市戦没者追悼式の開催

主 催：長崎県戦没者慰靈奉贊会諫早市支部
日 時：令和2年10月7日（水）10：00～11：00
会 場：諫早文化会館（大ホール）
参加者：約108人

3. その他

関係機関と連携を図るため、各種委員会の委員として、役員及び職員を推薦しました。

各種委員の推薦

各関係機関から当該委員の委嘱依頼があり、役員及び職員を推薦しました。

◎長崎県関係

- 長崎県地域生活定着支援センター運営推進委員
- 長崎県県央保健所地域精神保健医療福祉協議会委員

◎日本赤十字社長崎県支部

- 日本赤十字社長崎県支部評議員

◎長崎県共同募金会

- 長崎県共同募金会理事
- 長崎県共同募金会諫早市支会副支会長

◎長崎県戦没者慰靈奉贊会諫早支部

- 長崎県戦没者慰靈奉贊会諫早支部副支部長

◎諫早市関係

- 諫早市防災会議委員
- 諫早市国民保護協議会委員
- 諫早市健康福祉審議会委員
- 諫早市民生委員推薦会委員
- 社会を明るくする運動諫早市実施委員会委員
- 社会を明るくする運動諫早市実施委員会幹事
- 出口ボランティア表彰審査委員
- 諫早市地域自立支援協議会委員
- 諫早市地域自立支援協議会地域移行部会委員
- 諫早市要保護児童対策地域協議会委員
- 諫早市健康づくり推進協議会委員

- 諫早市健康づくり推進協議会幹事
- 諫早市介護予防・日常生活支援推進会議委員
- 諫早市健康福祉審議会高齢福祉部会臨時委員
- 諫早市健康福祉審議会障害福祉部会委員
- 諫早市地域包括支援センター運営協議会委員
- 諫早市地域包括ケア推進協会委員

◎民間法人

- （社福）南高愛隣会県央東・県央北運営推進会議委員

